



B B I S S

資料 13 - 9

第13回宇宙開発利用専門調査会資料

超高速衛星インターネットサービス (BBISS)

事業化への取り組み

2003年10月20日

(株)超高速衛星インターネットサービス企画

BBISS: BroadBand Internet service via Satellite

1.超高速衛星インターネットサービスとは

総合科学技術会議方針

“民間でできることは民間で」との方針の下、政府主導の下で確立した技術については、速やかにかつ積極的に民間に移転し、利用されることを基本とする。”

目的

現在国の研究開発衛星として製作が進められている、WINDS衛星の技術を用いて、民間の衛星による従来にない快適なブロードバンド衛星インターネットサービスを提供する。

意義

官民協力の下、本プロジェクトの事業化を実現し我国初めての本格的な宇宙利用産業化に先鞭を付け、新技術開発の結果を広く国民に享受せしむるとともに、併せて国民経済の発展とユビキタス社会実現に貢献する。

2. WINDS技術を継承した BBISS衛星のメリット



インターネットの社会基盤化

問題点

多様なインフラの混在とブロードバンド化要求激増、
地域格差拡大 (デジタルデバイド 530万世帯 全国4千7百万世帯の約1割強)

WINDSによる画期的技術開発成果の実用化

- 低価格 : 従来衛星通信サービスの1/10以下
地上ADSLと同等のサービス価格を実現
- 超高速 : UP 1.5M、DOWN 155Mを実現
- 大容量 : 動画配信等の大容量コンテンツマルチキャストを実現

- 条件不利地域への通信インフラ大幅拡張を推進する。
- 全国のインターネットのブロードバンド化要求に応える。